

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6 月 30 日

愛知県知事 殿

提出者 〒542-0081
住 所 大阪府大阪府中央区久太郎町2-5-28
氏 名 大末建設株式会社
取締役社長 日高 光彰
電話番号 06-6121-7160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	だいすえけんせつかぶしがいしゃなごやしてん 大末建設株式会社名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市北区域見通3-5 日販名古屋ビル内
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高:1,900,000,000円
③従業員数	29人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ビル建設工事、リニューアル工事 旧建物解体工事:がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→最終処分業者に委託して、埋立処分 基礎工事(杭地業):汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 建設工事:がれき類→再生資源業者に委託して再生砕石として再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">名古屋支店</div> 支店長 (総括責任) ── 安全環境品質部(処理月報、マニフェスト保管、処理施設定期確認) 工事リーダー ── 各作業所責任者(産業廃棄物管理責任者) ── リニューアル作業所(産業廃棄物管理責任者) </div>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度 (平成23年度) 実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・新築建築工事については1.3kg/m ² を目標に実施しました。 ・分別をより厳密に行い、排出量を減らす。	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き1.3kg/m ² を目標に活動を実施する。 ・梱包材の簡素化を指導する。 ・環境パトロールによる指導を強化する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンガラ、金属くず、木くず、廃プラスチック、ダンボール、廃石膏ボードはそれぞれに分別し、保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・ 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分の低減をはかる。		

②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙（様式第二号の九）

23年度の産業廃棄物発生量（実績）

1 / 3

（単位：t / 年）

項 目	産業廃棄物の種類 (名称)				合 計	
	がれき類 コンクリートがら	がれき類 アスファルトがら	がれき類 その他がれき	ガラス・ 陶磁器くず		
平成23年度の産業廃棄物発生量の目標						
23 年度 計画 の実 施 状 況	① 産業廃棄物発生量	149.20	257.75	37.91	22.01	(466.87)
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	(0)
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	(0)
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0	(0)
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0	(0)
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	(0)
	⑦ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	(0)
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	149.20	257.75	37.91	22.01	(466.87)

別紙（様式第二号の九）

23年度の産業廃棄物発生量（実績）

2 / 3

（単位：t / 年）

産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラスチック	金属くず	紙くず	木くず	合 計
平成23年度の産業廃棄物発生量の目標		10	2	3	15	(30)
23 年度 計画 の実 施 状 況	① 産業廃棄物発生量	8.45	0.63	0.61	24.95	(34.64)
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	(0)
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	(0)
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0	(0)
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0	(0)
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	(0)
	⑧ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	(0)
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	8.45	0.63	0.61	24.95	(34.64)

別紙（様式第二号の九）

23年度の産業廃棄物発生量（実績）

3 / 3

（単位：t / 年）

産業廃棄物の種類 (名称)		建設汚泥	がれき類	混合物	石綿含有廃プラスチック類	合計
			廃石膏ボード			
平成23年度の産業廃棄物発生量の目標		1000	50	5	5	1595
23年度計画の実施状況	① 産業廃棄物発生量	1748.24	25.03	119.99	0	2394.77
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	0
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0	0
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0	0
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0
	⑨ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	0
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	1748.24	25.03	119.99	0	2394.77

24年度の産業廃棄物発生量の目標値

1 / 3
(単位：t / 年)

項 目	産業廃棄物の種類 (名称)				合 計
	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	がれき類 その他がれき	ガラス・ 陶磁器くず	
平成24年度の産業廃棄物発生量の目標					
24 年 度 の 目 標	① 産業廃棄物発生量				
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0
	⑦ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	235	100	45	20

24年度の産業廃棄物発生量の目標

2 / 3
(単位：t / 年)

産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラスチック	金属くず	紙くず	木くず	合 計
平成24年度の産業廃棄物発生量の目標		10	2	2	21	(35)
24年度の目標	① 産業廃棄物発生量					
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0	
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0	
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	
	⑨ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	10	2	2	21	(35)

24年度の産業廃棄物発生量の目標

3 / 3

（単位：t / 年）

産業廃棄物の種類 (名称)		建設汚泥	がれき類	混合物	石綿含有廃プラスチック類	合計
			廃石膏ボード			
平成24年度の産業廃棄物発生量の目標		1000	30	34	1	(1065) 1500
24年度の目標	① 産業廃棄物発生量					
	② 自己直接再生利用量	0	0	0	0	
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	
	④ 自己中間処理量	0	0	0	0	
	⑤ 自己中間処理残さ量	0	0	0	0	
	⑥ 自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	
	⑩ 自己中間処理後自己埋立処分 又は海洋投入量	0	0	0	0	
	⑧ 直接委託及び自己処理後委託処分量	1000	30	34	1	1500